

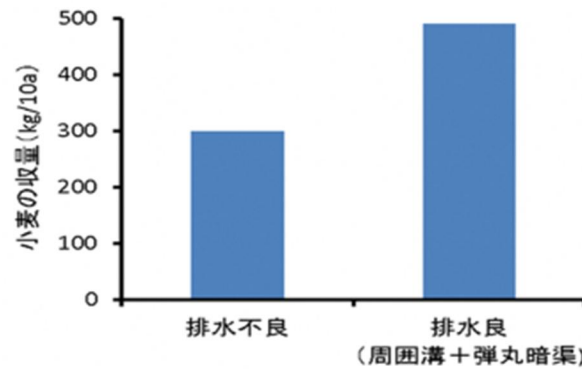
福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

1 排水対策の実施及び石灰資材の施用

麦類の生育・収量に最も大きな影響を与えるのは、ほ場の排水性です。弾丸暗きよや水田周りの明きよ(周囲溝)との組み合わせにより、ほ場の排水性を高めましょう。

また、土壌pHが低いと、酸性障害を引き起こします(特に大麦)。pHが低いほ場では、石灰質資材を施用し、pH矯正を行いましょう。

排水対策の効果



(平成28年産 筑後分場、シロガネコムギ)

排水対策(周囲溝+弾丸暗きよ)の徹底により麦の収量向上

16

	資材名	施用量(10a当たり)
酸度矯正	生石灰	100kg
	炭酸苦土石灰	200kg
	オイスターミネラル	100kg~200kg

2 種子消毒

シロトビムシ類による被害が拡大しています。下記薬剤を使用し、予防に努めましょう。

対象病害虫	薬剤名	処理方法
ヤギシロトビムシ	アドマイヤー水和剤	乾燥種子重量の0.15%を粉衣する (種子10kg当たり15g)
裸黒穂病 なまぐさ黒穂病	ベンレートTコート	乾燥種子重量の0.5%を粉衣する (種子10kg当たり50g)

3 施肥

施肥基準は次表のとおりです。大豆後作の場合は、水稻後作に比べ地力窒素（大豆根粒菌による窒素分の残存など）の影響が大きく、通常の施肥管理では倒伏を招きます。倒伏すると、品質が大きく低下するので、倒さない麦づくりを心掛けましょう。

(10 a あたり施用量)

品種名	基肥	追肥	
		1 回目	穂揃い期
シロガネコムギ	ちくごのめぐみ 4 4 4 4 0 k g (大豆あとは 2 0 k g)	麦追肥一発 2 号 4 0 k g	—
ちくし W 2 号	ちくごのめぐみ 4 4 4 4 0 k g (大豆あとは 2 0 k g)	硬質小麦専用追肥 (3 0 0 4) 3 5 k g	硫安 1 0 k g または 尿素 4 k g (水 1 0 0 ℓ)

4 播種

播種適期は小麦で 1 1 月 2 0 日～1 2 月 5 日、大麦で 1 1 月 2 5 日～1 2 月 5 日です。1 0 a 当たりの播種量は、適期播種の場合小麦で 6～7 k g、大麦は 5～6 k g です。遅播きの場合は、3 割程度増やします。なお、大豆後作の場合は、水稻後作の場合より播種量を 2 割程度減らします。

5 雑草対策

1 つの除草剤だけに頼らず、土壌処理剤と茎葉処理剤の体系処理で防除しましょう。

	薬剤名	処理時期	10 a 使用量	留意事項
	ラウンドアップマックスロード または バスタ液剤	播種前～出芽前 まで	5 0 0 m l	必ず土壌処理剤も 散布する
土 壌 処 理 剤	リベレーターフロアブル	播種後～麦 3 葉期	6 0～ 8 0 m l	乳剤、粒剤ともに 大雨の前後には使 用しない 播種後できるだけ 早く処理する
	リベレーター G (細粒剤)	播種後～麦 2 葉期	4～5 k g	

○液剤の希釈水量は 1 0 0 ℓ/1 0 a

- ※ 1) 土壌処理剤の中には、麦出芽後の散布も可能なものがありますが、播種後できるだけ早く処理した方が、除草効果は安定します。
- ※ 2) ラウンドアップマックスロードとリベレーターフロアブルを混ぜると、成分が沈殿するため混用はできません。